

湘南浦高会通信 第17号

2025年4月1日

注：氏名のあとの（ ）内の数字は高校卒業回数

<令和6年度 第4回理事会 出席報告>

平井隆一 (21)

去る3月22日(土)10時から、麗和会館において、浦高同窓会第4回理事会が開催された。主な議事は以下の通りです。

(1) 第1号議案：創立130周年記念事業

(全容は6月22日の総会で披露される予定)

学校側も150年が20年後に控えており大きな記念行事は考えていない(10月に記念行事開催)ので、同窓会としても今年の総会を「130周年記念総会」と称して実施したい。また、(仮称)「浦高未来プロジェクト」についての提案があった。これまで香田副会長を座長とするワーキンググループで検討してきたもので、理事会として承認可決しました。

・浦高創立130周年記念総会

日程：6月22日(日)

会場：ホテルブリランテ武蔵野

構成：総会、記念式典、講演会・懇親会(高33回幹事)

来賓：学校関係者、生徒、教職員、保護者

・記念事業：(仮称)浦高未来プロジェクト

対象：同窓会会員だけでなく、在校生・保護者・若手同窓生・地域の方々・企業

内容：浦高の魅力を発信するコンテンツと組織を作り上げていく

期間：2025年4月～5年間

趣旨：高校・同窓会・関係者が情報を共有し、活動をするためのプラットフォームを構築、＝浦高のさらなる魅力発信のために、高校関係者の共通のプラットフォームを構築し、将来的には受験生や一般への公開までの展開を狙う

協力者：加川大輔氏(高65回、Karonino代表)

予算規模：2025年度予算約400万円、2026年度以降200万円

(2) 第2号議案：令和7年度事業計画(案)及び予算(案)

・事業計画に130周年記念事業が追加

・例年の収支に上記記念事業が追加されたので、

予算規模は歳出で890万円強、引当資産から記念事業と母校支援資産を合わせて430万円強の支出が承認可決されました。

(3) 会員名簿の注意書き

今年度は会員名簿が発行されるが、全名簿にシリアルナンバーが打たれ、購入者から誓約書の提出が義務付けられる。そして、名簿の裏表紙に購入者に対して「第三者への譲渡・貸与・開示の禁止」を伝える文章を太字で印刷することが決まりました。

(4) その他

- ・共学化問題：県教育長からの「共学化推進方針」が示された後、反対署名運動や在校生等有志主催による「春の共学化反対ウォーキング」が実施されたりしている、との報告がありました。
- ・グラウンド人工芝化：寄付金が6,600万円集まったが、県の対応が決まっていない為動いていない。周辺で人工芝化が実現していないのは浦高のみであり、生徒の怪我が絶えない状況に変わりはない、との報告がありました。

<第17回地域職域同窓会 出席報告>

平井隆一 (21)

3月22日(土)の理事会に続いて、午後から「第17回地域職域同窓会責任者会議」が同じ麗和会館で開催され、私たち湘南浦高会を含め20組織が参加しました。尚、湘南浦高会からは私、会長の平井と梅本副会長の2名が出席しました。

・各地からの主な報告(抜粋)

スタートアップ麗和会：60回台卒業の若手会員中心に2021年設立。スタートアップ・イノベーションに関わる／興味ある会員48名で構成

金融麗和会：2022年設立、金融機関勤務者中心の会員350名。現在増加中。

宇宙麗和会：2019年設立。宇宙業界関係者54名からなる。

三粋会：2002年設立の老舗同窓会。毎月例会を開催し勉強している。会員58名。

関西浦高会：2008年設立。会員69名。年1回の総会の他イベント2回／年、「関西浦高会通信」メール発信、など。関西地区の大学在学中の浦高卒業生に対しサポート体制準備。

九州浦中浦高会：2007年設立。会員50名。コロナ禍にもめげずに活動継続中。

霞が関麗和会：官庁関係者486名からなる大組織であるが、異動が頻繁にあるので幹事団を形成するのが難しい問題を常に持つ。

西部浦高会：昨年創立20周年記念総会開催し他地区から多数参加（湘南浦高会から平井が参加）した。記念誌発行、HP充実。

春日部地区浦高会：2001年設立、会員50名。賀詞交歓会、小旅行、浦高百年の森、喫茶去発行など活発で、若手も巻き込んだ運営が出色。

岩槻蓮田白岡浦高会：74名会員。浦高強歩大会で岩槻と白岡関門で応援活動。若手会員を募集中。

上尾浦高麗和会：1971年設立。会員数200名。15～16年前からほぼ同じメンバーで運営しており、世代交代が必要に。

大宮浦高会：1970頃設立。会員数300名。昨年11月に開催された総会に湘南浦高会から平井が出席した。総会には50名以上が出席し、組織の勢いを感じました。



地域職域同窓会責任者会議

・懇親会

会議の後、麗和会館1階の食堂で懇親会が開かれ、湘南浦高会から平井と梅本が出席し、各地区代表と親しく懇談できたのが収穫だった

☆ ☆ ☆ ☆

<会員交流イベント実施報告>

<ゴルフコンペ>

大出 佳和 (27)

第11回湘南浦高会ゴルフコンペは、2024年10月16日にかんなみスプリングスカントリークラブにて行いました。今回は、いつも参加いただいている芳賀さん(14)、野原さん(15)、榎本さん(15)、の3名が欠席で、代わりに七海さん(14)が復帰していただき、5名の参加と少人数にはなりましたが、いつも通り楽しいラウンドとなりました。

成績は80台が2名、100台が3名で、スコアの平均は96.0で前回の97.3より良い結果でした。順位は新ペリアによるハンデ戦ですので、今回はハンデに恵まれた七海さんが1位となりました。

湘南浦高会と名乗っていますが、ゴルフコンペはプレーフィアの高い湘南地区から逃れて、静岡県東部の三島・函南・伊東等の比較的安価なゴルフ場で行っています。交通費を除けば概ね総額1万円程度ですので、お気軽に参加いただければと考えています。

特に今回実施したかんなみスプリングスCCはバブル期に開場したコースで施設は豪華です。コースとお風呂からの富士山の眺めは素晴らしいです。コースはパー3、パー4、パー5がそれぞれ6ホールという変則的なパー72のコースで、アップダウンや谷越えありで変化に富んでいます。ショットが曲がらなければそこそこ良いスコアが出ますので、挑戦しがいのあるコースになっています。当面このコースでのコンペ実施を考えておりますので多くの方々お気軽に参加して下さることを願っています。



写真左から 原田洋 (21)、七海耕一 (14)、平井隆一 (21)、梅本慶三 (25)、大出佳和 (27)

<鎌倉散策 「北鎌倉編」>

平井隆一 (21)

毎年恒例の鎌倉の紅葉を楽しむ「鎌倉散策」は今年で8回目を迎え、過去最大の参加者を得て2024年12月7日(土)に開催されました。当日は好天に恵まれたこともあって、集合場所のJR北鎌倉駅前とは同じような紅葉散策の人で混みあっていました。

まずは午前10時に主催者の湘南浦高会の会長から歓迎の挨拶があり、続いて湘南浦高会メンバーで地元鎌倉ガイド協会幹部でもある坂本哲夫氏(18)からコースの説明を受け、総勢29名の団体はA、Bの2グループに分かれて出発しました。

*テーマ:「紅葉の鎌倉散策」

*コース:「円覚寺→長寿寺→円応寺→鶴岡八幡宮→静久(懇親会場)」

[1]円覚寺 鎌倉五山第二位 臨済宗大本山 創建:1282年 開山:無学祖元 開基:北条時宗

★境内は総門、山門、仏殿、法堂などが一直線上に、両側に僧堂、庫裏、東司、浴室が並んだ中国風の伽藍配置だったが、1374年の大火で全てが消失。4年後に鎌倉公方足利氏満の支援で仏殿が再建された。

★山門:1783年ころに再建。

★仏殿:関東大震災でまたも焼失。現在の建物は昭和39年に再建。

★仏日庵:北条時宗が開基。その後北条氏の廟所に。

★洪鐘:北条貞時が寄進した鐘。建長寺と常楽寺の鐘と共に鎌倉三名鐘と呼ばれる。



(円覚寺にて参加者全員で記念撮影)

[2]長寿寺 創建:1336年 臨済宗 開山:古先印元 開基:足利尊氏

★伽藍:足利尊氏の息子の鎌倉公方基氏が尊氏の菩提を弔うため大規模な七堂伽藍を建立したと言われている。

★本堂に足利尊氏坐像と古先印元坐像が祀られている。境内奥のやぐらには、尊氏の遺髪を埋めたと言われる五輪塔がある。

★このお寺は春と秋の季節に期間限定で公開され、見事な庭園を屋内から鑑賞するのと、境内を一周する小径を廻ることにより、じっくりと晩秋の紅葉を楽しむことができる。



(坂本ガイドの説明に耳を傾ける参加者)

[3]円応寺(園應寺) 創建:1250年 臨済宗 開山:智覚禅師 本尊:閻魔王

★閻魔堂、十王堂とも呼ばれていて、人が死後に会おう十王を祀っている。

★本尊の閻魔大王の坐像は鎌倉時代の仏師運慶の作と言われ、国の重要文化財。瀕死の運慶が閻魔大王に地獄から追い返されて蘇り、笑いながら彫ったため、像も笑っているように見えるとの伝説から「笑い閻魔」として庶民にも親しまれて来た。

[4]鶴岡八幡宮

★祭神:応仁天皇 源頼義が1063年に源氏の守り神として京都の石清水八幡宮を由比郷鶴岡に勧請したことに始まる。

★1081年に源義家が修復、1180年に鎌倉入りした源頼朝が現在の地に遷座して鶴岡若宮と称した。

★源氏の守り神として鎌倉幕府から尊崇された鶴岡八

幡宮は、広く武門の神として分霊され全国に知れ渡った。その後、足利氏、豊臣氏、徳川氏からも篤く崇敬された。

★神事では、狩装束の射手が馬を走らせながら鏑矢で三つの的を射る流鏑馬神事が有名。

(坂本ガイドの説明に耳を傾ける参加者)

★大銀杏：「隠れ銀杏」で有名な大石段脇の大銀杏は源実朝を危めるため公暁が陰に隠れたという伝説があるが、2010年3月に強風のため倒伏した。現在は関係者の必死の努力により「ひこばえ」が立派に成長し、将来に望みを託している。

[5] レストラン 静久 (懇親会場)

★12時半ころ、無事予定通りコースの最終地点である懇親会場に到着した。今村大宮浦高会会長のご発声による乾杯の後、参加者全員による自己紹介が約30分間に亘って展開された。この「全員自己紹介」は、湘南浦高会主催「鎌倉散策」の恒例の行事で、埼玉県や東京都、そして地元神奈川県から参加されたメンバーによってコメントが陳べられ、お互いを知る良い機会になっています。

★13時半ころにはすっかり全員が打ち解けてきて、和気藹々の雰囲気醸成されている中、大変名残惜しいですが来年の「鎌倉散策」での再会を期してお開きとなりました。

★三々五々、小町通りを行くグループ、若宮大路を途中豊島屋で「鳩サブレ」のお土産を買うグループに分かれて、人込みの中を歩いて鎌倉駅に向かった。

★ ★ ★ ★

連絡事項・今後のスケジュール

<会員交流イベント>

- ・第12回ゴルフコンペ 4月24日(木)開催
かなみスプリングス CC
- ・横須賀散策 5月21日(水)開催
- ・第12回総会・懇親会 7月9日(土)開催
藤沢商工会議所ミナパーク(藤沢駅北口)

皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

発行責任者：平井 隆一 (21・会長)

編集責任者：大出 佳和 (27・事務局長)